

## 伊方町の子どもの体力・運動能力について

令和5年4月～7月にかけて、全国の小学校5年生と中学校2年生を対象として、全国体力・運動能力、運動習慣等調査が実施されました。町内児童生徒の結果は以下のとおりです。小中学生の一部の結果ではありますが、各小中学校では、結果を参考にして今後の活動に取り組んでいきます。ご家庭や地域でも体力の向上等に向けてご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

### 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

#### (1) 調査の目的

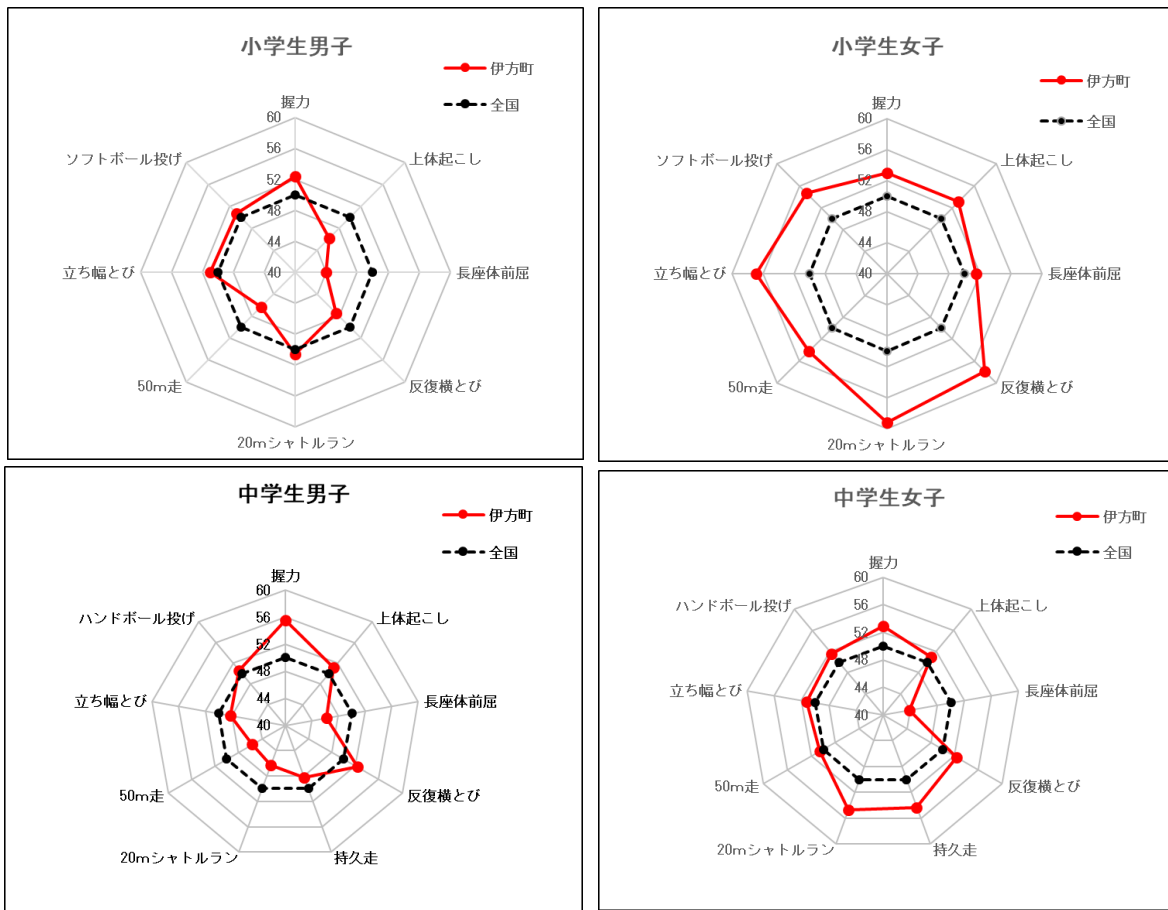
- ア 国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

#### (2) 調査の対象

小学校第5学年、中学校第2学年

#### (3) 各種目に関する調査結果（全国を50としたとき）

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
伊方町	48.1	57.5	49.5	50.7



#### (4) 考察

- 小学校は、女子が全ての種目において全国平均を上回っている。男子は、全国平均をやや下回っているが、握力、ソフトボール投げ、立ち幅とび、20mシャトルランは、全国平均を上回っている。
- 中学校は、女子が長座体前屈以外で全国平均を上回っている。男子の値は全国平均とほぼ同じである。握力、上体起こし、反復横とび、ハンドボール投げについては、全国平均を上回っている。
- 児童生徒質問紙より、全国平均と比べて運動が好きな児童生徒の割合が少ない傾向がある。運動やスポーツを行うことは、楽しさや喜びを味わうことに加え、体力の向上へとつながる。今後は、学校と家庭の連携に加え、地域が一体となって児童生徒の生活習慣の改善と良好な運動習慣の形成に努めなければならない。